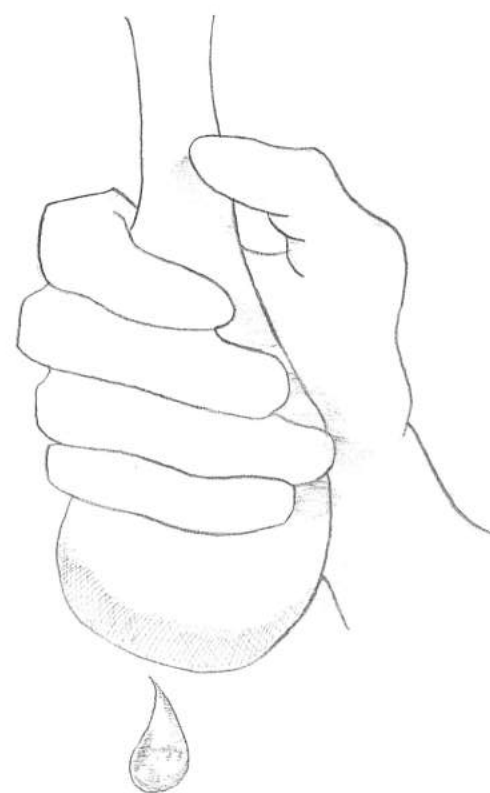
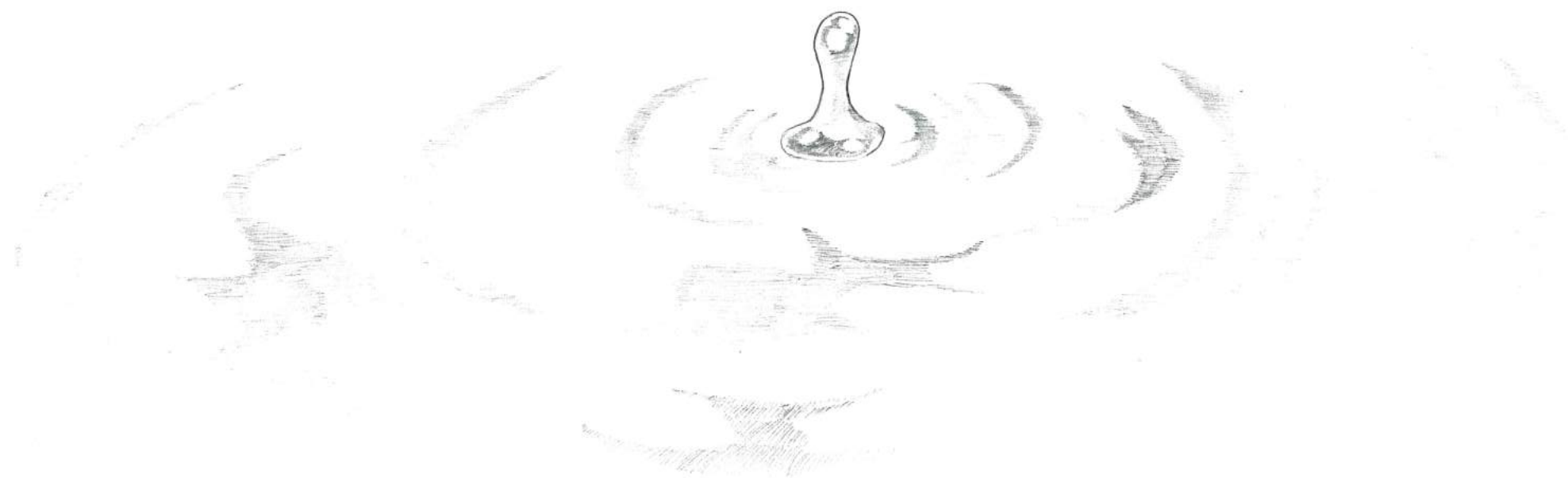




タイトル

価値を体⁰感^ハして

みませんか？



今、必要なのは、集水システム？利用効率の向上？・・・・・・？ 雨水利用の特許は溢れています。そんな時代だからこそ今、必要なのは、「水への価値観」そのものへの啓発ではないでしょうか。

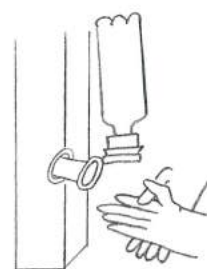
1



課題

みなさんは水を手に入れるためにはどうしますか？ほとんどの人は蛇口をひねって水を手に入れます。それをあたりまえの事と思っていないでしょうか。現代の人は水を無意識の存在、居て当然の存在と思っているのではないのでしょうか。

Rain Drops



Tapp



Wello Water



世の中の斬新な雨水の利用法を調べてみると...

雨水との付き合い方において人類の知恵は多種多様で、各国の特許数を合わせると膨大な数にのぼる。今この瞬間に革新的なアイデアが誕生しているかもしれない。雨水との付き合い方は日進月歩である。大学企業研究機関がその開発にしのぎを削っている事が分かりました。

ペットボトルを浄水器に変えて雨水を飲料水に変えることができる。

筒内のフィルターにより汚水を安全に飲むことができる。

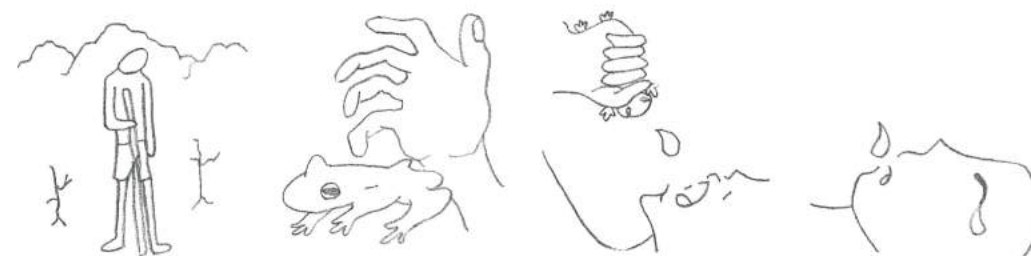
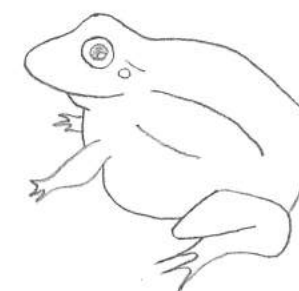
タンクに汚水を入れて転がすことで浄水することができる。

2

『本当に美味しい水を飲んでいるのは？雨水の価値を知るもの。』

モグリアマガエル

灼熱の荒野をフラフラと歩く老年のアボリジニ。地面を棒をつづいている。彼は体内に雨水を貯め乾季をしのぐモグリアマガエルを探しているのだ。なんとかモグリアマガエルを見つけ出し、おもむろにカエルを口元で絞る。カエルから絞り出されたわずかながらの水でノドを潤す。搾り取られたカエルからしたらたまったもんじやないがアボリジニはさぞ美味しいと感じているに違いない。いや、彼からすると世界一美味しい水なのである。



美味しい！

トゲトカゲ

ガビガビのクラックだらけのトカゲ。夜露が地上に授けたわずかな水をガビガビクラックを利用した毛細管現象で口元まで運びペロリと捕水する。このトカゲもさぞかし美味しい雨水を堪能しているに違いない。雨水を本当の意味で利用している彼らから学ぶ取することは非常に多い。



美味しい！

世の中には多くの生き物が本当の意味での雨水の恩恵を受けている。そこで、よく考えてみた今 必要なのは技術だとかアイデアも大切ではあるが、もっと根源的な

「今 使っている水が雨水であるという意識とありがたいと思う感情そのもの」ではないだろうか。雨水への傾注とそれを実際に使い、肌でその感触を楽しんでみる。単純な行動である。しかし、この一連の行動が雨水を無限の天然資源と考えたり、闇雲に再利用するだけでなく、水道水も含め水のありがたさと節水への啓発につながると考えました。

雨巾着紹介



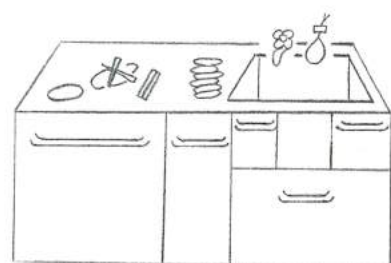
□何気ない日常

今日の食器洗いの当番は兄。朝ご飯のおかずはハムカツ。完食後のお皿にはマヨネーズがベっとりについている。まずは予洗い。もちろん水は雨巾着から絞る水。冷たくてなんだか水道水とは違う感触である。

母から頼まれたお風呂掃除バスタブ三分の一が水に浸かるくらいに水を絞る。掃除は浄水ではなく濾過された雨水。節水とともにしばし雨水と戯れる。

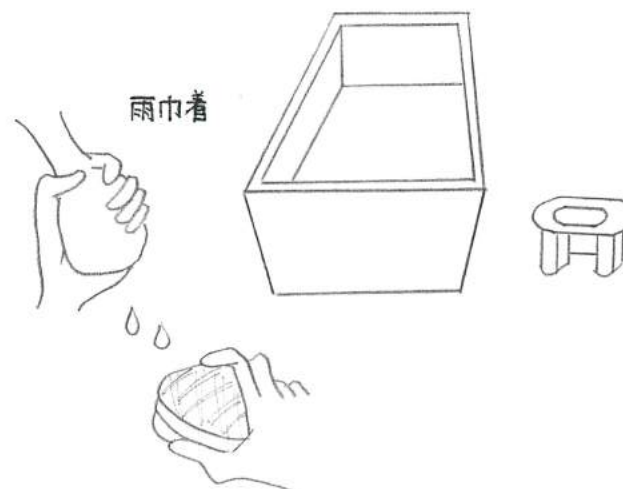
夕方に父が洗車。雨巾着をボディに擦りつける。昔のように水をたくさん使わない。水の大切さを知ったから。今日も父は優しく洗車する。

雨巾着



予洗い

雨巾着

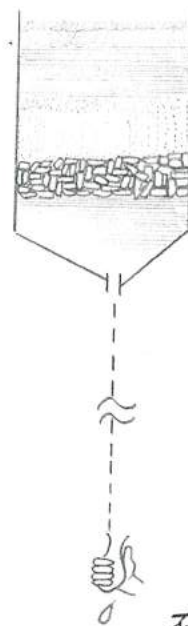


雨巾着

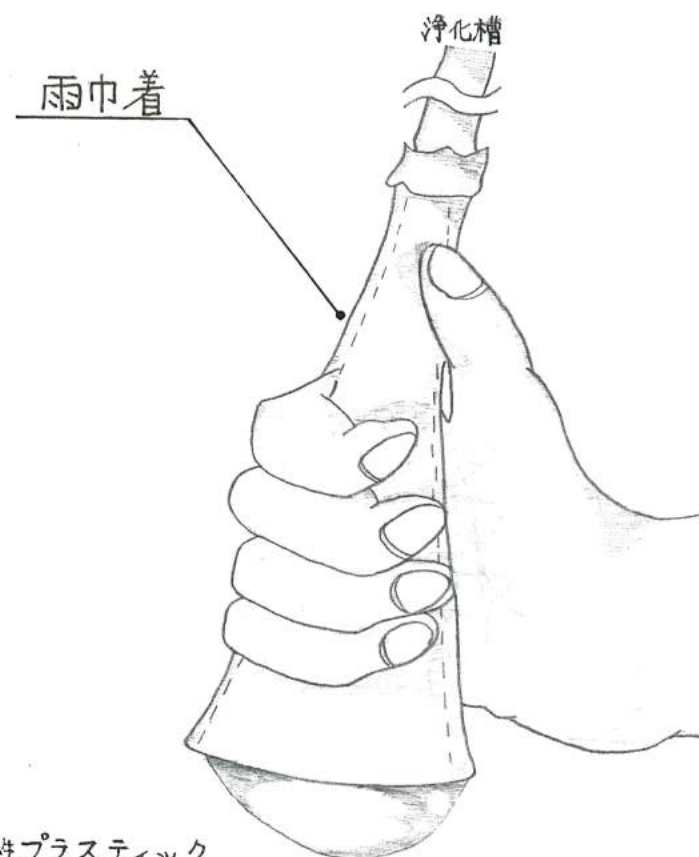


浄化槽

綿
ホワイトマット
細骨材
粗骨材
ホワイトマット



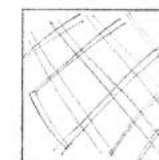
雨巾着



不透水性プラスチック

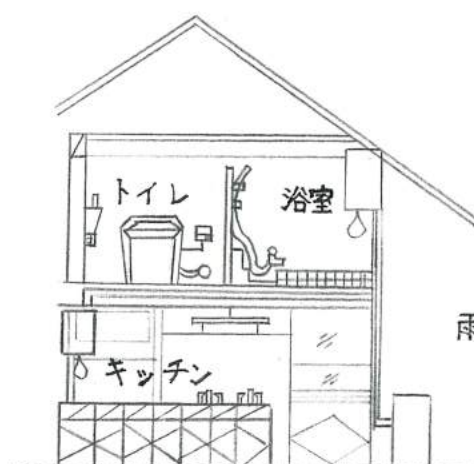
握ることで水を得ることができ、実際に手で握るといふ実感を味わうことができる。

綿



そもそもなぜ、雨水を再利用するのか、それは環境負担軽減？もったいないから？まず、水そのものの価値を認識し再考することから新しい雨水との付き合い方を発見できると考えました。

雨巾着



雨巾着 重力で水を送る

給水タンク

「雨水と折り合いをつける」ためには『使い方ではなく価値観を変えること』が必要ではないでしょうか。